

中国興業

中国興業は、創業以来40年以上培ってきた知見とネットワークを生かし国内外でビジネス拡大を図っている。新規取り扱い商品を拡充すると同時に、受託・委託加工の案件獲得も積極的に推進していく。松本研二社長は「上半期はコバルト相場の上昇により好調に推移した。ただし、この状況はいつまでも続くわけではないので、いかなる変化にも対応できるように国内外の販売先・仕入先、取り扱い品目・加工先のバリエーションを増やしていくことに注力している。徐々に新たな兆しが生まれてきている」と語る。同社の創業は1974年3月。資源有効活用の重要性に着目し、従来なら廃棄されていたものを加工することで価値ある商品づくりを目指した。そこで廃触媒やスクラップの回収、再利用を目的として立ち上げた。レアメタルの国際的リサイクルネットワークの構築

を通じ、限りある資源の枯渇への挑戦を続けている。使用済み触媒やスクラップを回収しニッケルやコバルト、タンクステン、モリブデン、スズ、亜鉛、銅など非鉄金属やレアアース、超硬金属、貴金属のリサイクル利用につなげるのが基幹事業。このほかりチウムイオン電池関連のスクラップの回収購入、ピスマス、マンガン、コバルト、スズなどの地金販売、窯業原料、三酸化アンチモン、チアベンダゾールといった化学工業薬品の取り扱い、焼成・混合攪拌・篩・粉碎・袋詰めをはじめとする受託加工など事業領域は広い。

「為替、相場も不安定だが今までの固定概念に縛られず、柔軟に工夫して進んでいく。簡単ではないと思うが、行動なきところに結果はないと信じている。社員全員で地道に行動量を増やしていく」（松本社長）考え。

取引先、商材拡充に注力